

11/15～17 取材のお願い



みらいのたね賞
Seeds for the Future Award

News Letter

2017年11月7日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

「優れた建築を生み出すことに貢献しうる、優れた製品、未来への布石となる製品」を表彰する

『みらいのたね賞』授賞製品展示+シンポジウム

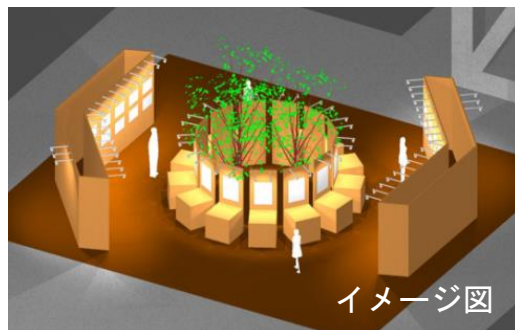
日本最大級の建築展示会「Japan Home & Building Show」にて初開催!!

建築家をはじめとする業界関係者が注目の13製品を選抜!!

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村 正己）は、11月15日（水）～17日（金）の3日間、東京ビッグサイト東ホールで開催する日本最大級の建築展示会「Japan Home & Building Show」にて、建材・設備製品に特化した賞「みらいのたね賞」の授賞製品展示およびシンポジウム（表彰式）を開催いたします。

本賞は、これまで建築系頭脳集団「一般社団法人 HEAD 研究会」が2011年から毎年行ってきた「HEAD ベストセレクション賞」を継承するものです。今年、当協会が引き継ぐにあたり、「未来への布石となる製品を表彰する」という要素を追加すると共に、より一層、対象製品を広げるために選考委員を再編し、「優れた建築を生み出すことに貢献しうる、優れた製品、未来への布石となる製品」を表彰する賞として行うものです。

「Japan Home & Building Show」の会期中に、今年の授賞13製品の展示ならびにシンポジウム（表彰式）を行います。



イメージ図



取材のご案内

<プレス登録方法>

取材にあたっては展示会場でのプレス登録が必要です。名刺を2枚ご用意いただき、来場当日にプレスルームでお手続きをお願いいたします。また、併設セミナーを聴講される場合は、プレス登録をお済ませのうえ、開始時刻にあわせて直接会場にお越しください。

※テレビ・ラジオ媒体の取材については、事前に下記事務局までご連絡ください。

<プレスルーム>

東京ビッグサイト 東1ホール 2F 商談室(2) 11/15～17 各日 9:30～17:00

【本件に関する問い合わせ先】 Japan Home & Building Show事務局

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター（担当：栗橋、山口、赤木、堀内）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL: 03-3434-1988 / FAX: 03-3434-8076 / E-mail: jhbs@jma.or.jp

※取材に関するお問い合わせは、広報室（担当：斎藤 / TEL: 03-3434-8620）へお願いします。

<開催概要> (敬称略)

催し名	『みらいのたね賞』授賞製品展示
開催期間	2017年11月15日(水)~17日(金) 10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト 東2ホール Japan Home & Building Show内 ブース番号: 2-J03
主催	一般社団法人日本能率協会
企画協力・設計	建築家 山本想太郎(みらいのたね賞選考委員/一般社団法人HEAD研究会 常任理事)
授賞製品 (12社/13製品) ※順不同 ※詳細別紙	『アートミュール』旭化成建材株式会社 『鎖樋』瀬尾製作所株式会社 『ひきドア』大建工業株式会社 『TOLI FABRIC FLOOR』東リ株式会社 『シャワーヘッド ウォームピラー』TOTO株式会社 『エコサーカディアン照明システム』パナソニック株式会社 『戸建住宅用宅配ボックス「COMBO-int」「COMBO-F」』パナソニック株式会社 『DRAW A LINE』平安伸銅工業株式会社 『輻射冷暖房システムパネルシェード』株式会社三葉製作所 『VISOLA』株式会社カネカ 『除菌型消臭剤PCKシリーズ エアウォッシュ』株式会社エムナ 『水性反応硬化研塗料「アレスダイナミックTOP」「アレスダイナミックフィラー」』関西ペイント株式会社 『AVコンセント シリーズ』株式会社ネットメカニズム

催し名	『みらいのたね賞』シンポジウム
開催期間	2017年11月17日(金) 15:00~16:30
会場	東京ビッグサイト 東1ホール Japan Home & Building Show講演会場
主催	一般社団法人日本能率協会
企画協力	一般社団法人HEAD研究会
次第	1) みらいのたね賞 選考委員長挨拶 (敬称略) 松永 安光 (みらいのたね賞選考委員長/HEAD研究会理事長/近代建築研究所 代表取締役) 2) ご来賓応援コメント 国土交通省住宅局住宅生産課 建築環境企画室長 山下 英和 経済産業省製造産業局生活製品課 住宅産業室長 杉浦 宏美 3) みらいのたね賞 紹介 松永 安光 (みらいのたね賞選考委員長/HEAD研究会理事長/近代建築研究所 代表取締役) 4) みらいのたね賞 表彰式 松永 安光 (みらいのたね賞選考委員長/HEAD研究会理事長/近代建築研究所 代表取締役) 授賞企業12社/13製品 5) みらいのたね賞選評・トークセッション ファシリテーター: 松村 秀一 (Japan Home & Building Show実行委員長/ HEAD研究会副理事長/東京大学大学院 教授) 選考委員: ※順不同 松永 安光(みらいのたね賞選考委員長/HEAD研究会理事長/近代建築研究所 代表取締役) 穂本 敬子(積水ハウス株式会社 技術部 部長) 逢坂 達男(住友林業株式会社 住宅事業本部 設計推進部 技師長) 藤田 雄介(キャンプデザイン株式会社 主宰) 山本想太郎(山本想太郎設計アトリエ 代表)

<授賞製品詳細>

『アートミュール』旭化成建材株式会社

工場下地処理と専用塗装による高品質・高意匠・高耐久の ALC パネル

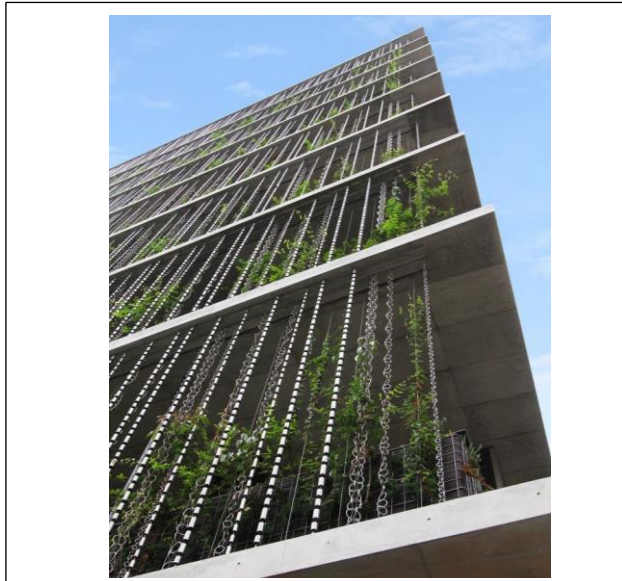


【選評】

発売から 40 年を超える「ヘーベル」は、建築外装材の定番のひとつである ALC（軽量気泡コンクリート）パネルの代表格ともいえる製品である。その「ヘーベル」と塗装仕上げの総合システム製品である「アートミュール」は、新開発の ALC 用複層塗装の下地処理までを工場で行うことによって仕上げ表面の美しさと高耐久性を実現している。とくにシリーズの「アートミュール シセラ」は専用のシーリング材も用いることで塗替えサイクル 30 年を標榜している画期的な製品である。ALC という定番製品の可能性を追求した結果、その概念をも更新しうる、意匠性と耐久性の高い外装材の新たな選択肢が誕生した。（山本想太郎）

『鎖樋』瀬尾製作所株式会社

和風建築専用の樋として日本で独自の進化を続けてきた鎖樋は、約半世紀ほど前に一般的な住宅にも利用されるようになった。その後、住宅の洋風化が進み使われる機会も少なくなっていたが、雨水を流す機能とその意匠の面白さから、建築家が和風の雰囲気を活かした建物に使用する場面や、現代的な商業ビルなどに取り入れファサードとして活用するなど、従来の視点では無かった新たな活用方法が生まれている。



【選評】

富山県高岡市で金属加工業を営んできた「瀬尾製作所」が、1960 年代より製作し続けている鎖樋。曲げや絞りなどの技術を活かして、工芸品のような美しい鎖樋を作り続けている。「雨水を、ランドスケープの一部にしたい」という信念のもと、雨の流れを建築やそれを取りまく環境の一部として考える姿勢は、建材の供給を超えて建築意匠に向けたメッセージとなっている。また近年では、日建設計が「コープ共済プラザ」のファサードに全面的に瀬尾製作所の製品を使用されている。ここでは、窓前面に設けた 3700 本の鎖樋に植物が絡んでいる。屋根からの散水が鎖樋を伝って植物へ届き、グリーンカーテンをつくり出している。鎖樋は伝統的かつ美しい意匠を生み出す建材として、無数の可能性を持っている。（藤田雄介）

『ひきドア』 大建工業株式会社

「ひきドア」は高齢者のトイレ使用状況を検証し、健常者はもちろん、自走式車イス使用者、介助車イス使用者、そして認知症対策など、すべての方が快適に使用できるトイレ空間を実現。「引いて、開く」の開閉機能を持つトイレドア「ひきドア」は開口をフルオープンで使用する事で、介助者がサポートするスペースが確保される。また、車イスを便器に横付けできるので、車イス使用者の用足しのための移動が楽になる。広い開口部であるため、ゴミの溜まり易い便器コーナー部分も楽にお掃除でき、認知症の場合に心配されるオムツなどのトイレ詰りも対応し易くなる。従来のドアをコーディネートが可能な見た目は美しい木目柄とし、見栄えのあるデザインとした。

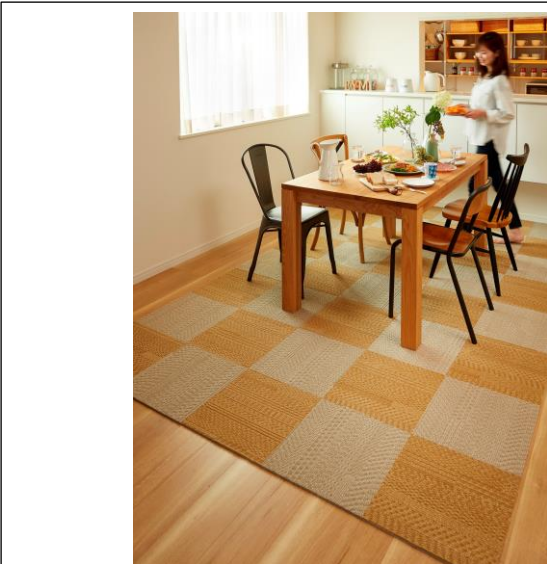


【選評】

高齢者の在宅介護では、トイレへの動線、車椅子での使いやすさが重要なポイントになる。「ひきドア」は既存住宅のリフォームで大いに役立つ製品である。トイレの問題が解決できれば、高齢者の多くが希望する在宅を可能にしてくれる。住宅はもちろん介護施設等でも限られた空間での対応の可能性が広がる。高齢者や車椅子利用者の場合、扉に寄って開閉ができる引き戸がドアより都合がいい、さらに引き残された引き戸が開くことによって介助やメンテナンスのスペースも確保できるので、プランが格段にしやすくなる。この製品のように高齢者の暮らしを支え、さらに豊かにしてくれる美しいデザインの製品はまだまだ必要だ。
(樺本敬子)

『TOLI FABRIC FLOOR』 東リ株式会社

今回、より利便性を高めるために 40cm 角の商品を多数ラインアップし、さらにお客様からご要望の多い“肌触り”と“清掃性”に優れたスムーズ加工対応の商品を拡充。ご使用者から評価の高い、安全性を高めるための吸着力などはそのままに、多彩なバリエーションで鮮やかにお部屋を彩ることが可能となっている。今回は副資材も刷新し、東リファブリックフロア専用のアンダーレイシートを発売。フローリングの上だけでなく、住宅リフォームや幼保施設などにもお使いいただきやすいラインアップとなっている。



【選評】

現在、日本の住宅に用いられる床仕上げ材の大半は木質材料であるフローリングと、合成樹脂系のシート（またはタイル）が占めている。これらはメンテナンス性には優れるが、硬く冷たすぎるため、家で靴を脱ぐという文化のある日本において、素足で過ごすにはいささか不向きなものである。この「TOLI FABRIC FLOOR」は、施設系や商業系の建築で一般的に用いられているタイルカーペットを、住宅用にアジャストしたものである。素材の健康配慮や、白をはじめとした明るく優しい色調、丸洗いでできるメンテナンス性、そして心地よい肌触りといった、従来のタイルカーペットにはなかった特徴を備えたこの製品は、住宅用床仕上げ材の新しい定番ともなる可能性をもつと思われる。
(山本想太郎)

『シャワーヘッド ウォームピラー』 TOTO 株式会社

お湯に包まれるような新感覚のシャワー。とぎれのない湯が、柱状に静かに流れ落ち、体に沿って流れる湯に柔らかく包まれるような浴び心地となっている。柱状になることで外気に触れる表面積が小さくなることで湯の放熱が抑えられ、温かさがムダなく体まで届けられる。高い温まり効果により、湯船につかるようなリラックス感を演出。3モード切替のハンドシャワーと、2モード切替のオーバーヘッドシャワーおよびシャワーバーに搭載。



【選評】

湯船につからずシャワー浴ですます人が増えている。単身世帯の増加に起因して、簡単にシャワーですます人もいる一方で、入浴による癒しや美容効果、健康志向のニーズも高まっている。実際に利用した人によるとお湯が体を包むように流れて、体感したことのない感覚だという。これまでのシャワーが、バシバシと刺激を感じるのに対し、「ウォームピラー」は滑らかで癒される感覚が、新しいシャワー浴文化の始まりを感じるという。シャワーの手元スイッチで水流を変えて、入浴の効果を手軽に取り入れられるのも魅力だ。心地よい水流を得るために水やエネルギーを必要とせず、従来品の約35%の節水にもなっているという。環境に優しい製品であることもみらいのたねとなる条件であろう。(穂本敬子)

『エコサーカディアン照明システム』 パナソニック株式会社

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、当社独自の「波長制御技術」と「サーカディアンリズム」に配慮した「快適」と「エコ」の両立、そして「知的生産性」の維持を目指した、LED照明によるオフィス市場への次世代省エネソリューションを提案。「サーカディアンリズム」と呼ばれる約24時間周期の生体リズムに配慮し、LED照明の色温度や明るさなどを制御することで、さらなる省エネをはかるとともに、快適性や知的生産性などの維持が可能なオフィスの環境づくりを目指す。



【選評】

朝、強い光を浴びることは体内にメラトニンを生じさせ、十数時間後の良質な睡眠を促すと言われる。受賞の商品は、人の眠りに関し、室内空間の光の強さと生体リズムとの関係に着目し、適切な時間に適切な光を浴び、夕方から夜に掛けては光の強さを調整することで生体リズムを整え、日中には覚醒による活発な行動を、夕方から夜には沈静と良質な睡眠を促す照明制御システムとして提案している。生活の快適性、知的生産性の向上に加え照明の省エネ効果も期待されている。近年、睡眠障害を訴える人が増えており、常にストレスを感じる社会、パソコンやスマートホンなどのブルーライトが原因とされるが、良質な睡眠をとるための提案として評価された。(逢坂達男)

『戸建住宅用宅配ボックス「COMBO-int」「COMBO-F」』パナソニック株式会社

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、宅配便の再配達削減に貢献する宅配ボックス「COMBO（コンボ）」シリーズの品種を拡充し、2017年6月1日より本製品を発売。アパート用として複数世帯で使用できる「COMBO-Maison（メゾン）」を、戸建住宅用としてはポストと宅配ボックスを一体化させた2種類、住宅壁埋め込み専用の「COMBO-int（イント）」と、門柱などに設置できる洗練されたデザインの「COMBO-F（エフ）」を品ぞろえしている。



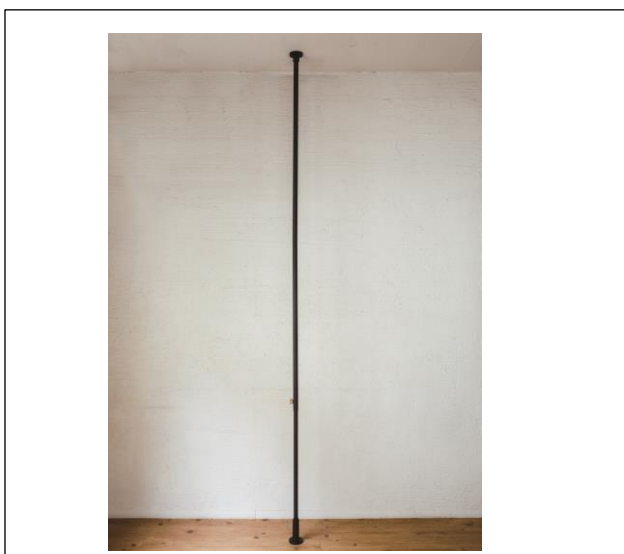
【選評】

電気設備をはじめとして非常に多岐にわたる建材製品を扱うパナソニックは、住宅用のエクステリア製品のラインナップも充実しており、定番となっているものも多い。宅配業者の人手不足から近頃社会的な話題となっている宅配ボックスについても、すぐに戸建住宅用のビルトイン型で複数のサイズ・形状を揃え、しかも郵便ポストとの一体化や押印機能、さらに同社のインターホンとの調和にも配慮された洗練されたデザインとなっている。このように同社の建材製品には、設計の現場で必要なものを探していたら、まさにそこにあつたという頼もしさを感じたことが何度もある。この戸建住宅用宅配ボックスもその象徴的な製品のひとつであるといえるだろう。（山本想太郎）

『DRAW A LINE』平安伸銅工業株式会社

「一本の線からはじまる 新しい暮らし」

暮らしの裏方で使われていた縁の下の力持ちの突っ張り棒から暮らしの表舞台で活躍しその人らしい暮らし方を可能にする「ライン」へ。突っ張り棒を、暮らしを豊かにする一本の線として再定義し、そこから始まる新しいライフスタイルを提案。

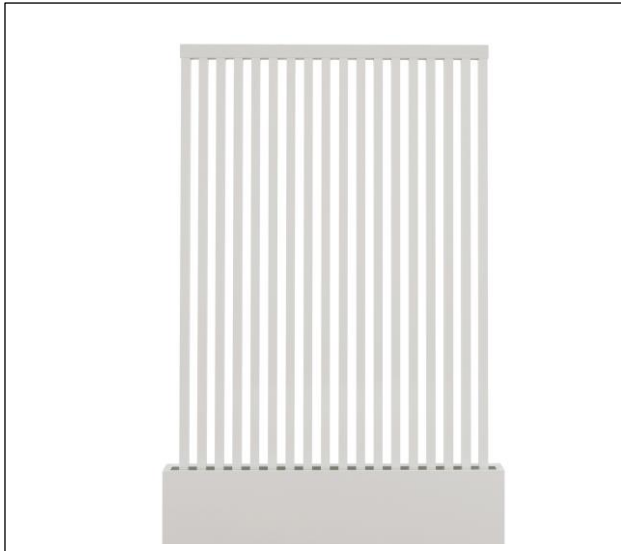


【選評】

突っ張り棒の国内トップシェアメーカーである「平安伸銅工業」が、若手デザイナーと協働で開発したプロダクト。突っ張り棒の技術を発展させて、パーツの組み合わせ次第で多様な仮設的な空間の設えを可能にする。小棚や照明を追加することもでき、様々なシーンを作り出すことができる。原状回復義務のある賃貸住宅が大半の日本だからこそ生まれた、建築と家具の間のようなユニークなプロダクトである。DIYが一般化しつつあり、原状回復義務無しの賃貸も増えてきているが、あえて現状復帰義務の制約の中から、新たなデザインの方向性が示されている点が興味深い。また、非常に日本的な設えの美学を感じるデザインでもある。（藤田雄介）

『輻射冷暖房システムパネルシェード』株式会社三葉製作所

輻射冷暖房システム「パネルシェード」は、エアコンのような空気の対流により空間を冷暖房するのではなく、冷温水を流したアルミパネル表面からの輻射により空間全体を直接冷暖房するシステムである。気になる風を発生させないため、ハウスダストやカビ菌などを舞い上げず、目や肌の乾燥も抑えることができる健康・快適に配慮したシステムとなっている。また運転音がしないため、音楽を聴く際にはクリアーな音を楽しむことが可能。



【選評】

空調設備としてはエアコンや床暖房などが一般的であるが、一部の方には、エアコン稼働時の音や風、ホコリの舞上げ、乾燥しがちとか、床暖房の低温ヤケドを気にされる方がいる。これに対し受賞の商品は、ヒートポンプによる冷温水を放熱パネル（パネルシェード）に循環させることで、夏季にはパネル表面での結露による除湿効果とパネル表面からの冷輻射により、冬季には放熱パネルからの温輻射により空調する輻射冷暖房システムである。これまでも類似のシステムはあったが、高効率なヒートポンプシステムによる省エネ化に加え、システムの標準化による大幅なコストダウンを実現し、風に邪魔されないこれからの冷暖房システムとして評価された。（逢坂達男）

『VISOLA』株式会社カネカ

屋根の意匠性を意識し、まぶしさを抑えた瓦一体型太陽電池
瓦と混ぜ葺きした屋根が街の景観になじむ



【選評】

太陽光発電の電池モジュールは、屋根の上に据え置く施工が一般的だが、VISOLAは瓦一体型でほとんど設置されていることに気づかない。日本の美しい屋根と街並、景観に調和する意匠性を新しい屋根材として高く評価した。表面の凹凸により太陽光の反射を低減させているため、変換効率は高くないが設置角度による低減が少ないので設置方位や影ができる屋根でも影響が少なく設置できる。瓦と一緒に葺き事ができるので、屋根の軽量化、施工性、防水、耐風性にも優れ、複雑な屋根形状でも設置面積を確保することができる。モジュールの効率だけでは評価できない優れた製品である。（穂本敬子）

『除菌型消臭剤PCKシリーズ エアーウォッシュ』株式会社エムナ

今、住宅メーカーでは健康や自然をキーワードに取り組む姿勢がよく見られる。建材に含まれる揮発性有害物質をいかに少なくするかは住宅メーカーにとっても消費者にとっても大きな課題と考える。PCKシリーズ【エアーウォッシュ】は小型の機械で、専用液のPCK（植物性除菌型消臭液）を新築工事中に合計3回（1回10分程度）室内で噴射させるだけで揮発性有害物質を取り除き、また 除菌・ウイルス対策・カビ・ダニなどにも効果を発揮する。



【選評】

建設現場においては過酷な環境での労働が強いられることも多い中、この製品はその労働環境の改善を目的として開発された森林由来の原料による除菌消臭剤噴霧システムで、複数の公的検査機関において、「森林由来の原料」の無害性などが確認されている。実際の労働現場における有効性についてはこれからの検証となるが、その企業姿勢を高く評価して本賞に値するものと評価した。本賞では過去には暑熱労働環境の改善を目指す「空調服」を顕彰して大きな反響を得たことがあるが、今後の建設業界の人材確保のためには、このような試みの開発が今後ますます重要視されるようになるであろう。本製品のメーカーが、有名木材産地に立地していることも有利な条件である。（松永安光）

『水性反応硬化形塗料「アレスダイナミックTOP」「アレスダイナミックフィラー」』関西ペイント株式会社

“業界初！雨天等、高湿度環境でも塗装できる塗料（建物外壁の改修塗装用上塗・下塗）”

施工者は職人や管理者の不足、人件費高騰、雨天の作業中断が現場を逼迫させている。施主は工事中洗濯物が干せない、室内が暗い、防犯への不安、近隣の目など、工事が長引くとストレスを感じる。これらを解決するため弊社は独自技術により「雨の日は塗装できない」という業界の常識を覆し、更に上塗には優れた耐候性を持たせた「アレスダイナミック TOP」、「アレスダイナミックフィラー」を開発。これにより生産性向上、顧客満足度向上を図れる。



【選評】

外装改修用水性ペイントのメーカーが無数にある中で、このメーカーの製品の特長は、従来は雨天などにより工程の順延などのトラブルの多かった塗装工事が、高湿な環境での施工を可能にしたことにある。従来雨天には外装工事が出来なかったために休業せざるを得なかった塗装作業員達に安定した労働環境を確保する本製品は工程の短縮以外に人材確保の面でも効果がある。もう一つの大きな特徴は、従来「ペンキ缶」などと呼ばれ、誰も注目しなかった缶を同じデザインで用途により色を変えることで視認性を改善し、この製品の品質をアピールしていることも高く評価された。魅力的な労働環境を創造したいという業界の希望に沿った試みと言えよう。（松永安光）

『AV コンセント シリーズ』株式会社ネットメカニズム

『AV コンセント』は電源コンセントのように AV 端子（オーディオ、ビデオ端子）や情報端子を壁面に設置できる商品である。壁面、天井面、机上や専用装置などへも自在に AV 端子を配置できるため、デジタル機器を設置する際の制約条件が大幅に削減される。外寸寸法は日本配線システム工業会規格に準拠しているため、市販の電源コンセントと並べても、部屋のデザインを損なうことなく設置が可能。



【選評】

AV コンセントを壁面・天井面・家具に設置できる製品である。AV コンセントの種類も多様化し、一般的に使用されているコンセント類しかない場合、無駄に配線が増えることも多い。インターネット用に電話用・LAN用のあるマルチメディアコンセントを設置する場合も多いが、実は USB 対応のコンセントが複数ある方が便利な場合もあるだろう。コンセントの仕様は、現代のデジタル機器をとりまく状況に対応しきれていないとも言える。株式会社ネットメカニズムが製品化した「AV コンセント」シリーズは、様々な AV コンセントを取り揃えており、また他社のコンセントプレートを被せて使用できる。そのため、空間全体の統一感が考えられている点も素晴らしい。（藤田雄介）

以上